

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人は、総務省令で定める場合を除き、どのような手続をとった後でなければ、許可に係る無線設備を運用してはならないか。次のうちから選べ。

- 1 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出た後
- 2 総務大臣に運用開始の予定期日を届け出た後
- 3 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められた後
- 4 工事が完了した後、その運用について総務大臣の許可を受けた後

〔2〕 再免許を受けた陸上移動局の免許の有効期間は何年か。次のうちから選べ。

- 1 5年
- 2 4年
- 3 3年
- 4 10年

〔3〕 電波の主搬送波の変調の型式が角度変調で周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がデジタル信号である2以上のチャネルのものであって、伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 A3E
- 2 F3E
- 3 F7E
- 4 F8E

〔4〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者の無線設備の操作の対象となる「陸上の無線局」に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 海岸局
- 2 航空局
- 3 基地局
- 4 基幹放送局

〔5〕 無線従事者がその免許証を総務大臣に返納しなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の免許を受けてから5年を経過したとき。
- 2 無線通信の業務に従事することを停止されたとき。
- 3 5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 4 免許証を失ったためにその再交付を受けた後失った免許証を発見したとき。

〔6〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局で人工衛星局の中継により無線通信を行うものの多重無線設備の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 30ワット
- 2 50ワット
- 3 20ワット
- 4 10ワット

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、陸上移動業務の無線局の無線電話通信における応答事項を掲げたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- ① 相手局の呼出名称 3回以下
- ② こちらは 1回
- ③ 自局の呼出名称

- 1 3回以下
- 2 3回
- 3 1回
- 4 2回以下

〔8〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許証を失ったとき。
- 2 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 3 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 4 電波法に違反したとき。

〔9〕 無線局の定期検査(電波法第73条第1項の検査)において検査される事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の知識及び技能
- 2 無線従事者の資格及び員数
- 3 無線設備
- 4 時計及び書類

〔10〕 無線局の免許人は、無線局の検査の結果について総務大臣から指示を受け相当な措置をしたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その措置の内容を免許状の余白に記載する。
- 2 その措置の内容を無線局事項書の写しの余白に記載する。
- 3 その措置の内容を検査職員に連絡し、再度検査を受ける。
- 4 速やかにその措置の内容を総務大臣に報告する。

〔11〕 無線局の免許人は、免許状に記載した住所に変更を生じたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務大臣に無線設備の設置場所の変更の申請をする。
- 2 免許状を総務大臣に提出し、訂正を受ける。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 免許状を訂正し、その旨を総務大臣に報告する。

〔12〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 速やかに、総務大臣の承認を受ける。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。